

教 育 長 様

研究コース	グループ研究Bコース
校 園 コー ド (代 表 者 校 園 の 市 費 コー ド)	561155

代表者 校 園 名 : 大 阪 市 立 本 田 小 学 校
校 園 長 名 : 銭 本 三 千 宏 校 印
電 話 : 6581-1531 FAX: 6581-3194
申 請 者 校 園 名 : 大 阪 市 立 本 田 小 学 校
職 名 ・ 名 前 : 教 諭 長 原 尚 哉
電 話 : 6581-1531 FAX: 6581-3194
代 表 者 校 園 事 務 職 員 名 : 大 谷 由 香

平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究 申請書

◇ 本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究Bコース	研究年数	新規研究(1年目)
2	研究テーマ	「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」の育成 ——元気・感動・仲間・成長を軸に——			
		◆ 研究内容のキーワード: 研究の内容をキーワードで記載してください。(【例】学力向上、体力向上等) スポーツの文化的価値 「医療性」「芸術性」「コミュニケーション性」「教育性」「元気、感動、仲間、成長」 体のメンテナンスとスポーツの授業研究 栄養と運動の授業研究 ゲーム領域の系統性を明確にした運動の授業研究 パフォーマンス評価 ルーブリック 自らの成長を振り返る授業研究			
3	研究目的	テーマに合致した目的を端的に記載してください。 小学校教育では「スポーツ」をする学科を「体育科」と言う。学校で行う「体育科」の授業は経験と勘で従来行われる傾向があった。そして、「体育科=体力の向上」のようにステレオタイプに捉え「体育科」のイメージを「スポ根」に象徴されるような狭隘なイメージにしてしまっていた。本来、「体育科」は新学習指導要領にあるように体力の向上のみならず、「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成」をめざす教科であり、スポーツのもつ「スポーツを通じた健康づくり」や「栄養・休養・運動という健康の柱づくりを通じた病気にならない健康な人づくり」といった「文化的な価値」の高い教科である。「スポーツ基本法」では「スポーツは、世界共通の人類の文化である」という文言も入っている。今回、新学習指導要領では、「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」という言葉で、スポーツの持つ「文化的価値」がしっかり強調されている。新学習指導要領移行のため、現行の「体育科」を「文化的な価値」の視点から捉え直し、児童に「豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」を育成するのが研究目的である。そして、本研究を通して、長寿社会に生きる現在の児童が、生涯にわたって心身の健康の保持増進をすることも目的としている。			
4	研究内容	継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。 スポーツの「文化的価値」は4つの方向性があると言われている。「医療性」「芸術性」「コミュニケーション性」「教育性」の4つである。これを子どもに分かりやすくするため、「医療性」は「元気」、「芸術性」は「感動」、「コミュニケーション性」は「仲間」、「教育性」は「成長」という言葉で説明する。本研究グループのめざす「新しい体育科学習」は「元気、感動、仲間、成長」の四つのキーワードから構成している。 ○ 「元気」の研究は養護教諭・栄養教諭による「体のメンテナンスとスポーツ」、「栄養と運動」の授業研究、 ○ 「感動」「仲間」の研究は「ゲーム領域の系統性を明確にした体育科」の授業研究 ○ 「成長」の研究は、「パフォーマンス評価やルーブリックによる自らの成長を振り返る」授業研究を行う。 ○ 以上の4つのスポーツの「文化的価値」を踏まえた研究を有機的に連動させ、体力の向上や生涯にわたって心身の健康の保持増進のためには、規則正しい生活や休養、睡眠が大切なこと、栄養バランスのよい食事と適度な運動が大切なことを保護者に啓発していく。			
5	活動計画	5月 両校で研究目的、研究方法の共通理解をはかり、新学習指導要領と総則、体育編を精読する。 6月25日 筑波大学附属小学校 齋藤直人先生による「系統性を重視した体育科授業のあり方」の模範授業の参観、公開実技研修 7月 両校で校内研究授業及び先進校視察 8月 先進校視察			

		10月 本田小学校にて指導栄養教諭による「運動と栄養」の授業研究会 9月 両校で校内研究授業 11月22日 本田小学校にて公開授業 12月 本田小学校にて「運動とけがの予防」の授業研究会 1月 研究のまとめ				
6	見込まれる成果	大阪市教育局振興基本計画に示されている 子どもの様々な力の育成 および 教員の資質や指導力の向上 について、見込まれる成果を端的に記載してください。 ○ 先進的な体育科の学習の在り方を指導者が学ぶことにより、体育科の授業を充実させることができ、児童が基本的な動きや技能を身に付けることができるようになる。 ○ 仲間と共に運動に親しみ、楽しく明るい生活を営む児童の育成を図ることができる。 ○ 各種の運動経験を通してフェアなプレイを大切にする児童の育成を図ることができる。 ○ 筋道を立てて練習や作戦について話し合うことや、身近な健康の保持増進について話し合うなど、コミュニケーションや論理的な思考力の育成を促すことができる。 ○ 保健学習や栄養指導、食育を計画的に行ない、運動、食事、休養及び睡眠等についての学習を通して、児童の健康的な生活習慣の形成を図ることができる。 ○ 運動や健康についての自己課題を児童自らが見つけ、その解決に向けて思考し判断することができるようになる。				
7	成果の検証方法	客観的な指標により、 必ず数値で示すことができる検証方法 を記載してください。 ○ 本研究の成果については、公開授業研究会で参観者へのアンケート調査を行う。アンケート形式についてはICTモデル授業の「教育センターの調査用紙」を使用する。 ○ 児童の「運動への嗜好」「健康や栄養への関心」「運動能力」については「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」を使用し、効果検証を行う。				
8	研究発表の日程・場所(予定) 研究成果の共有方法	研究発表は 報告書提出日(平成31年2月25日)までに必ず行ってください。 ○研究発表の日程・場所(予定) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 程</td> <td>平成 30 年 11 月 22 日</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">場 所</td> <td>大阪市立本田小学校 全市及び全国に公開の予定です</td> </tr> </table> ○研究成果の共有方法:研究発表 および 代表校園HPでの共有は必須です。他の共有方法を計画している場合は記載してください。 上記の公開以外に、6月25日にも、公開実技研修会等を予定している。	日 程	平成 30 年 11 月 22 日	場 所	大阪市立本田小学校 全市及び全国に公開の予定です
日 程	平成 30 年 11 月 22 日					
場 所	大阪市立本田小学校 全市及び全国に公開の予定です					
9	代表校園長のコメント	「健康や体力を保持増進する力の育成」は大阪市教育局振興基本計画の施策として策定されているように大阪市の大きな課題である。現在まで各校で体力向上の取り組みがなされてきた。しかし、その実践からも明らかになってきたように体力の向上は体育科の授業だけでなされるものではなく、健康保健・栄養教育などと連動して成果を上げることができる。本研究は次期学習指導要領の「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフ」の実現をめざしたものである。複眼的な視点からの体力向上の取り組みは、各学校の参考になるのではないかと考える。				

※上記の内容を**A4判2ページ(文字は10ポイント)※厳守**で作成し、**平成30年4月20日(金)**までに大阪市教育局「がんばる先生支援」担当まで提出してください。